

家畜衛生情報

タイでアフリカ馬疫が発生しています

令和2年2月24日、タイ パークチョン郡の農場でアフリカ馬疫が発生して以降、これまでに13事例で600頭の感染、558頭死亡が確認されていますので情報提供します。

【病原体】アフリカ馬疫ウイルス（レオウイルス科のオルビウイルス）

【感染様式】ヌカカ*などの吸血昆虫を媒介とし、馬から馬への直接感染はない。
※媒介するヌカカは日本での分布は確認されていない。

【分布】主にサハラ砂漠以南に常在（シマウマが自然宿主と考えられている）。馬や吸血昆虫の移動により地中海沿岸、中近東、インド、スペイン、ポルトガルで過去に流行したことがある。日本での発生はない。

【症状】肺炎型：3～5日の潜伏期の後、発熱、重度の肺炎症状を呈し死亡（致死率95%）
心臓型：7～14日の潜伏期の後、発熱と浮腫（致死率50%）

【対策】輸入検疫による侵入防止

衛生管理区域に出入りする車両の消毒や、他の農場から導入する場合の健康確認等の厩舎出入口の手指や靴の消毒などの飼養衛生管理基準の遵守や 異常家畜の早期発見・通報をお願いします。

一部の馬の伝染性疾病の名称が変わります

先般の家畜伝染病予防法及び同法施行規則の一部改正により、伝染性疾病（監視伝染病）の名称について、国際的な名称の使用実態や、名称が社会に与える影響が大きいこと、日本獣医師会等から提言があったことを踏まえ、以下のとおり変更されました。

改正前	改正後
馬モルビリウイルス肺炎	ヘンドラウイルス感染症

〔異状の通報はこちらへ〕

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223
飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923	家畜防疫対策室	026-235-7232